

令和元年度共同事業 実施状況一覧

(1) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和2年2月末時点)
1	伊勢原市個人情報保護審査会	新規	総務部 文書法制課	情報マネジメント 学部 勝間 豊教授	個人情報の開示請求の諾否決定に対する審査請求に関する市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期 日 期日時点未定
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び課題 —
2	伊勢原市社会福祉審議会	継続	保健福祉部 福祉総務課	情報マネジメント 学部 松岡 俊教授	市長の諮問に応じて社会福祉に関する事項について、調査及び審議を行う。	期 日 福祉関連の計画策定時等に開催されるため、今年度の開催の予定はなし
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び課題 —
3	平成大山講プロジェクト推進協議会	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント 学部 斉藤進兼任教員	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの人が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期 日 令和元年6月、12月 令和2年3月頃を予定
						場 所 伊勢原市役所 会議室
						内 容 総会、事業の途中経過等報告他
						参加者数 22名
						成果及び課題 観光・交通事業、大学教授等から専門的な意見をいただき、観光の核づくり事業を推進した。
4	伊勢原市日本遺産協議会委員	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント 学部 斉藤進兼任教員	文化庁より認定をうけた「日本遺産 大山詣り」の周知・啓発を進め、観光誘客及び地域振興を目指す。	期 日 令和元年6月、11月 令和2年3月頃を予定
						場 所 伊勢原市役所 会議室
						内 容 日本遺産を活用した観光振興
						参加者数 20名
						成果及び課題 専門の見地から協議会において、意見・提案をいただいている。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和2年2月末時点)
5	伊勢原市都市計画 審議会	継続	都市部 都市政策課	経営学部 木村 剛教授	都市計画案件に関 する審議等を行う。	期 日 【第1回】令和元年5月30日 【第2回】令和元年8月21日 【第3回】令和元年11月27日
						場 所 全員協議会室
						内 容 第1回: ・伊勢原市立地適正化計画について ・特定生産緑地について 第2回: ・都市計画道路の検証結果について 第3回: ・伊勢原市立地適正化計画について ・都市計画道路の検証結果について ・伊勢原都市計画生産緑地地区の変更
						参加者数 第1回:12名 第2回:13名 第3回:14名
						成果及び課 題 委員の委嘱と、報告事項に関して専門 的知見から意見をいただいている。

(2) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和2年2月末時点)
1	伊勢原吹奏楽フェ スティバル	継続	市民生活部 市民文化会 館	産業能率大学吹 奏楽部 SANNOウインド・ オーケストラ	芸術・文化の普及・ 振興	期 日 令和元年6月9日
						場 所 伊勢原市民文化会館大ホール
						内 容 市内の吹奏楽団が一堂に会するコン サート
						参加者数 1,211名
						成果及び課 題 日頃の練習成果を発揮し、観客から好 評を得た。
2	子育て支援セン ター事業	継続	子ども部 子育て支援 課	情報マネジメント 学部 荒木淳子教授	子育て中の母親が、 地域と繋がる場作り として、子育てワー クショップを開催し、 学生に地域貢献の 環境を提供する。	期 日 ①令和元年6月28日 ②令和元年7月10日
						場 所 伊勢原市民文化会館t練習室2
						内 容 子育てワークショップ 「タイムカプセル動画をつくらう！」
						参加者数 ①9名(託児7名) ②8名(託児6名)
						成果及び課 題 NPO法人ハートフルコミュニケーション との協働プログラムにより、子育てワー クショップを実施した。学生には、事前に NPOによるコーチング講座を実施した ことで、参加者との対話もスムーズに進 み、「どんな動画を残したいか」や、「子 どもに対する思い」を上手く引き出すこ とができていた。参加者からも学生が話し やすかったという声が多く聞かれ、地域 貢献の場の提供として、十分な成果を 上げることができた。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和2年2月末時点)
3	子育て応援フェスタ	継続	子ども部 子育て支援課	情報マネジメント 学部 荒木淳子教授	リーディングプロジェクト「未来につなげる子育て環境づくりプロジェクト」の取組の一環として、親子が楽しめるイベントを開催し、子育て支援センター事業のPRを図る。	期 日 令和元年11月16日
						場 所 行政センター体育館
						内 容 「スマホの写真で動画をつくろう！」
						参加者数 100名
						成果及び課題 子育て応援フェスタ初回より3回目の参加。子育てワークショップ「タイムカプセル動画をつくろう！」の形を変え、スマホで手軽に動画を作成するブースを出店。保護者が動画作成している間、チェキで撮影した親子の写真に、子どもがフレームをクラフトし、学生が子育て中の親子と触れ合う場を提供した。
4	科学工作教室 「夏休み思い出ムービーを作ろう」	継続	教育部 図書館・子ども科学館	情報マネジメント 学部 荒木淳子教授	パソコンを利用し、動画を作成することにより、パソコンの基礎的な知識を身につける	期 日 令和元年8月27日
						場 所 子ども科学館 パソコン室
						内 容 パソコンを使って動画を作成する
						参加者数 16名
						成果及び課題 パソコンの基礎的な知識を身につけることができた。
中止	科学工作教室 「2019年の思い出ムービーを作ろう」	新規	教育部 図書館・子ども科学館	情報マネジメント 学部 荒木淳子教授	パソコンを利用し、動画を作成することにより、パソコンの基礎的な知識を身につける	期 日 令和元年12月21日(中止)
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び課題 参加者が集まらなかったため、中止。

(3) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和2年2月末時点)
1	産業能率大学DeNaベ이스ターズスペシャルゲーム	新規	企画部 経営企画課 経済環境部 商工観光課 (観光協会)	情報マネジメント 学部 権野睦准教授	産業能率大学の「スポーツ企画プロジェクト」の一環として、横浜DeNaベ이스ターズの2軍試合の企画、当日の運営を行い、マネジメントについての学びを深める。	期 日 令和元年7月7日
						場 所 平塚市総合運動公園内平塚球場
						内 容 市長挨拶及び伊勢原の特産品の販売
						参加者数 来場者2,054名
						成果及び課題 市長挨拶、クルリンのグリーティング、特産品の販売ほか、学生企画のブース等においても、伊勢原市の魅力をPRすることができた。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和2年2月末時点)
2	瑞木祭	新規	企画部 経営企画課 経済環境部 商工観光課 (観光協会) 市民生活部 人権・広聴相 談課	湘南学生サービ スセンター	産業能率大学の学 園祭「瑞木祭」にお いて、伊勢原市の ブースを出展し、伊 勢原市の魅力をPR する。	期 日 令和元年11月10日
						場 所 産業能率大学 湘南キャンパス
						内 容 ・消費者被害未然防止・男女フォーラム 案内のチラシ配布 ・伊勢原の特産品の販売
						参加者数 2,100名(瑞木祭全体)
						成果及び課 題 【成果】クルリンのグリーンテイング、特産 品の販売を通じて、伊勢原市の魅力を PRすることができた。 【課題】観光協会のブース出展を継続す るには、販売面において課題がある。
3	伊勢原市商業振興 事業プランの推進	新規	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント 学部 橋本 諭准教授	プランの推進主体 である「商業のまち づくり協議会(仮 称)」と学生が連携 し、プランの施策に 取り組む。	期 日 第1回:令和元年12月23日 第2回:令和2年1月28日 第3回:令和2年3月10日 中止
						場 所 伊勢原市商工会 会議室
						内 容 商工振興事業プランの施策の検討及び 実施
						参加者数 18名
成果及び課 題 専門的見地から、商業のまちづくり協議 会での取り組み事業について助言をい ただいている。						
4	「新東名いせはら ウォーク」(新東名高 速道路ウォーキング イベント)の協力	新規	都市部 国県事業対 策課	湘南学生サービ スセンター 情報マネジメント 学部学生	「新東名いせはら ウォーク」(新東名高 速道路ウォーキング イベント)において、 地元大学生の協力 を得ながら地域振 興を図る。	期 日 令和元年12月7日
						場 所 新東名高速道路
						内 容 受付、歩行者誘導
						参加者数 参加者約3,000名、学生約80名
						成果及び課 題 地元大学生の協力を得ながらイベントを 実施することができた。
5	シティプロモーショ ン動画の作成	継続	企画部 広報戦略課	情報マネジメント 学部 柴田匡啓 教授 柴田ゼミ学生	学生の自由な視点 と発想により、伊勢 原の魅力を引き出 すプロモーション動 画を制作・配信す る。	期 日 令和元年5月30日、6月27日、8月1日、 10月3日、11月3日、～令和2年3月末日 (予定)
						場 所 伊勢原市役所広報戦略課事務室、産 業能率大学 ほか
						内 容 シティプロモーション動画の作成(打ち 合わせ、ロケハン、撮影、編集)
						参加者数 4名
						成果及び課 題 8月に1本、11月に1本配信済。現在1本 を作成中。平成30年度から計6本を配 信し、概ね好評価を得ているが、成果検 証の方法が課題。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和2年2月末時点)
6	伊勢原観光道灌まつり クリーンキャンペーン	継続	経済環境部 商工観光課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント 学部学生	伊勢原観光道灌まつりを通じて、健全な地域社会の発展及び人材の育成を目的として、協働活動による協力関係を推進する	期 日 令和元年10月5日～6日
						場 所 道灌まつり会場内
						内 容 クリーンキャンペーン
						参加者数 101名
						成果及び課題 道灌まつり会場内の清掃活動を実施。
7	伊勢原観光道灌まつりへの出店	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 古賀暁彦教授 古賀ゼミ生	伊勢原観光道灌まつりへの参加を通じて、市と大学との交流を深めるとともに、協働活動による協力関係を推進する	期 日 令和元年10月5日～6日
						場 所 道灌まつり会場内
						内 容 模擬店
						参加者数 10名
						成果及び課題 模擬店出店により、道灌まつり会場の盛況に寄与。
8	愛甲石田駅南口 ロータリーふれあい祭	継続	都市部 都市政策課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント学部学生	イベントの円滑な進行と地域住民とのふれあいの場を創出する。	期 日 令和元年5月18日
						場 所 愛甲石田駅南口ロータリー
						内 容 司会進行
						参加者数 2,000名
						成果及び課題 地域コミュニティの活性化に寄与した。

(4) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和2年2月末時点)
1	災害時における施設使用等に関する協定書	継続	企画部 危機管理課	湘南管理課	災害時の施設使用に係る要請窓口及び担当者の確認	期 日 令和元年7月2日
						場 所 危機管理課執務室
						内 容 災害時協力協定に係る窓口・担当者確認
						参加者数 1名
成果及び課題 災害時における連絡体制の強化						

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和2年2月末時点)
----	-----	----------	-------	----------------	------	-------------------

(5) その他

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和2年2月末時点)
1	「現代のマネジメントと産業研究」における講義	新規	企画部 秘書課	情報マネジメント 学部 勝間豊教授 北川博美教授	学生が就職活動等において伊勢原市役所及び地方公務員の魅力を理解してもらおう、講義を実施する。	期 日 令和元年11月5日
						場 所 産業能率大学 湘南キャンパス
						内 容 伊勢原市役所での仕事、給与、勤務条件などを紹介
						参加者数 100名程度
						成果及び課題 公務員採用に向け、機運を醸成した。
2	「情報マネジメント学部の学び方」における市長講演	新規	企画部 経営企画課	情報マネジメント 学部 矢田木綿子准教授	学生が伊勢原市の魅力を理解し、伊勢原市で学生生活を送るうえでの自覚を持つよう、必修科目として市長講演を実施する。	期 日 令和元年5月15日
						場 所 産業能率大学 湘南キャンパス
						内 容 「伊勢原市の今と未来のまちづくり」をテーマとして、新入学生に対して1時間の市長講演を実施した。
						参加者数 情報マネジメント学部新入学生約400名
						成果及び課題 【成果】新入学生に伊勢原のまちづくりについて講義し、まちへの愛着を持つ契機とすることが出来た。 【課題】学生により興味を持ってもらえる講義内容を工夫する必要がある。
3	伊勢原市制施行50周年記念事業市民ワークショップ	新規	企画部 経営企画課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント学部学生	地元学生や市民、関係機関の参画により、令和3年の一年間、市制施行50周年を祝う各種事業で使用する「キャッチフレーズ案」及び「記念事業」の企画立案をしていただき、祝意の醸成とPRを図る。	期 日 令和元年6月29日
						場 所 中央公民館
						内 容 市民も含めたグループワークに参加し、キャッチフレーズ案と企画事業を提案
						参加者数 情報マネジメント学部学生6名(全22名中)
						成果及び課題 50周年記念キャッチフレーズ候補4案及び複数の記念事業アイデアの提案をしていただいた。
4	女性職員研修	新規	企画部 総務部 職員課	情報マネジメント 学部 鬼木和子学部長 荒木淳子教授	女性職員が職業生活において能力を十分に発揮するために必要な知識等について近隣市町の職員とともに語り合うことで、様々な場での発信力を持ち、自らも取り組めるような人材を育成する。	期 日 第1回:令和元年11月29日 第2回:令和2年1月31日 第3回:令和2年2月28日(中止)
						場 所 産業能率大学湘南キャンパス
						内 容 第1回:二宮町長講話など 第2回:女性のリーダーシップについて 第3回:中止
						参加者数 職員2名参加
						成果及び課題 未定

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況(令和2年2月末時点)
5	上平間台自治会支 え合いサポーター	新規	保健福祉部 福祉総務課	情報マネジメント 学部 LLL同好会	自治会の集会所を 利用して、読み聞か せを実施する。	期 日 令和元年7月12日
						場 所 集会所ほか
						内 容 交流サロン、子育てサロン等の開催
						参加者数 不定
成果及び課 題	地域の支え合い活動に学生が参加する ことで活動の活性化が図られている。					
6	伊勢原駅周辺エリア マネジメント	新規	都市部 都市政策課	情報マネジメント 学部 橋本論准教授	伊勢原駅を中心とし た個性と魅力ある地 域まちづくりの推進 に向けて、多様な主 体が連携したエリア マネジメントを実施 する。	期 日 令和元年11月2日
						場 所 伊勢原駅北口暫定タクシー待機所
						内 容 エリアマネジメントの実践に向けた研究
						参加者数 5名
成果及び課 題	地域住民主体のまちづくりに向けて、先 進事例の研究や伊勢原駅周辺での進 め方について、引き続き検討を重ねる。					
7	「都市生活と社会政 策」における講義	新規	都市部 都市政策課	情報マネジメント 学部 柴田教授	伊勢原市内におけ る観光・産業等の現 状及び地域まちづく りの取組に関して、 講義を行う。	期 日 令和元年10月30日
						場 所 産業能率大学 湘南キャンパス
						内 容 伊勢原市のまちづくりについて
						参加者数 100名程度
成果及び課 題	伊勢原市の観光・産業等及び地域まち づくりの現状に関する講義を行った。					
8	就業体験学生(イン ターンシップ)実習 事業	継続	総務部 職員課	湘南教務課	行政に参加する機 会と情報を学生に 提供する。(学生3名 程度)	期 日 令和元年8月5日～8月9日
						場 所 伊勢原市役所
						内 容 各所属における行政体験実習
						参加者数 4名
成果及び課 題	地域の大学と連携した人的資源の活用 が図られる。					
未実施	放課後子ども教室	新規	子ども部 青少年課	情報マネジメント 学部 荒木淳子教授 荒木ゼミ生	放課後の時間に児 童が学習や工作、ス ポーツ等の活動を通 して、地域の大人 や学生など様々な 年齢の人々とふれ あう。	期 日 令和元年5月20日(月)～令和2年3月末日
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
成果及び課 題	放課後子ども教室の運営を支援するボ ランティアを募集したが、従事する学生 が参加までには至っていない。					